事業所における自己評価結果（公表）　【放課後等デイサービス】

公表：　令和6年2月26日　事業所名：　キッズサポートsorauta.

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○				
	2	職員の配置数は適切であるか	○				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○		現在、車いす使用などを利用している利用者がいないため、バリアフリー化はしていない。
業務改善	4	業務改善を進めるための、PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				保護者からの意見を全職員で周知し、意見があったことについて話し合い改善へと繋がるように努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○				
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			ZOOMで開催される研修などを利用して研修の機会を増やすように工夫している。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者や本人の要望を職員間で共有し、どう支援し要望を反映していくのかを検討した上で計画書を作成している。	個別支援計画書の中に保護者や本人の要望等記入する欄を設ける。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			標準化されたツールを使用して現状の把握に努めている。	アセスメントツールで現状を把握し、発達に応じた支援を行っていけるように職員間で支援について話し合いを重ね実行していけるように取り組んでいる。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			一人だけの視点ではなく色々な意見を取り入れて検討した上で立案するようにしている。	職員全員で話し合い、発達に沿ったプログラム活動となるように努める。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			同じ活動であっても内容をスモールステップにして「できた」という達成感を持てるように工夫している。	同じ活動であってもその子にとってスモールステップとなるような活動内容となるように常にプログラム内容を評価していく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			過ごす時間によって活動内容や個別の時間を設けるようにしている。	休日や長期休暇の際には戸外での活動を多く取り入れるなど平日ではできない体験や経験をたくさんできるようにしている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個々の発達や特性に応じて支援内容を考え、個別と集団を組み合わせて作成している。	其々の現状の発達や特性に合わせて個別や集団での活動を組み合わせて支援を行っていけるように作成し、日々の支援へと繋げていく。
	15	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援内容や役割についての確認も、支援開始前に必ず行っている。	支援内容に不備などあった際には、支援前に改善を行ってから支援を行うようにしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後又は、後日には必ず振り返りを行い職員間で共有し記録している。	休みの職員がいた場合は振り返りの記録を確認することと重要な事項については口頭で伝えるようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の支援など記録することは徹底している。	支援についての検証を日々の業務によっては徹底できていない部分があるの短い時間であっても徹底していけるように改善をしていく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			モニタリング後に検証を行い見直しが必要であれば見直し、支援計画書の内容を書き換えている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			ガイドラインの基本活動を組み合わせて支援を行っていけるように工夫している。	ガイドラインの基本活動を複数組み合わせてそれぞれの発達に沿った支援内容となるように個々に合わせて支援を行っていけるように取り組んでいく。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校の担任の方に緊急連絡先を事前に伝えている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○		医療ケアが必要な子の利用がない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			定期的に面談を行い情報の共有に努めている。また園によっては交換ノートを使用しての情報の共有を図っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○		現在、小学校低学年のみの利用なので障害福祉サービス事業所の方へ移行する利用者がいない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			ZOOMなどでの研修に参加するようにしている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○		コロナ以降、機会が減ってきているので今後は、一緒に活動が出来るようにしていきたい。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○		コロナ以降、参加する事を控えている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時にその日の活動の様子などに直接お伝えするようにしている。	なかなか面談以外でお会いできないご家庭への日頃の様子を伝えることが出来ていないことがあるので、今後は日頃の様子も伝えていけるように様子などを記録としてお渡ししていけるように改善していく。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○		以前開催したことがあるが、なかなか定期的に参加する事が難しい様子がみられたので、参加しやすいように日程や時間などを改善していけるように取り組んでいく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			運営規定や利用者負担については契約時だけの説明となっている。支援内容については、モニタリング時や内容に変更があった際には、その都度説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			その都度対応させていただいている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			定期的に開催している。	保護者が参加しやすい日時になるように改善を重ねている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○			会報は発行していない。定期的に開催している保護者会で活動概要などはお伝えするようにしているが、今後は会報の発行も考えていきたい。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			細心の注意を払うと共に、個人情報の資料に関しては鍵のついた棚に必ず保管するように徹底している。	個人情報の取り扱いについて、職員間で認識のズレがないように定期的に研修などを行っていく。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			絵カードやスケジュールボードなどを使用し視覚支援を用いて支援している。	全職員が意思の疎通や情報伝達の配慮を行っていけるように社内研修などを行って取り組んでいく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			今年度より地域イベントを開催している。	今後も定期的に地域イベントを開催して、地域の方々と交流を図っていけるように取り組んでいく。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○				職員に対しては周知が出来ているが保護者には契約時にしかお話をする機会がない為浸透していない。今後は保護者会や会報を発行する中で周知をしていけるように取り組んでいく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			水害、地震、火災などの避難訓練を定期的に行っている。	活動表などで避難訓練を行う際には発信しているが周知に至っていないため、お知らせの方法を検討し直して改善に努める。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			年に2回程度の研修の機会を設けている。	日常の中で起こりうる虐待について定期的に社内研修を行い虐待防止に努める。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			医師の指示に基づいて対応していた。	現在はアレルギー対象がいないが対象者となる子が利用となった場合は医師に指示に基づいた対応をしていく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットにあたる事例が起き た場合は速やかに報告書を作成し、職員間で情報の共有を行うようにしている。	記録漏れなどの無いように確認作業を2人体制で行うように改善。

○ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。（該当する方に○を記入）